

平成23年 第9回 島根県民文化祭「共催事業」 決定案件一覧

平成23年7月26日現在

分類	No.	事業名	実施団体名	実施地	実施月	事業概要
音楽	1	第20回記念県民手づくり第九コンサート in 島根	島根第九をうたう会	松江市	12月	オーケストラ、コーラスともに広く県民から団員を公募し、7ヶ月の練習期間を経て毎年12月に行われる「第九」コンサート。毎年2割程度の新規参加者を加えながら、音楽文化の拡大や初心者を対象とした基礎練習の充実など、人づくりという視点にも力を入れている。長年の積み重ねにより技術的にも上達し、年末の恒例行事として定着するとともに評価も高まっている。
	2	吹奏楽キャンプinいずも2011	吹奏楽キャンプinいずも2011実行委員会	出雲市	4月	プロの吹奏楽団「シェナ・ウィンド・オーケストラ」の楽器別メンバーを講師に、公募による中学・高校生85名を対象にした3日間のワークショップと成果発表演奏会。全国的な吹奏楽指導者である淀川工科高校の丸谷明夫氏の指導指揮によるプロの演奏家と中学・高校生の共演は他に例のない取り組みである。
	3	サウンドライブしまねアマチュアバンドフェスティバル	サウンドライブしまね実行委員会	雲南市 大田市 川本町 浜田市 益田市 隠岐の島町	8月 2～3月	島根に暮らしながら活動するアマチュアミュージシャンに発表機会を提供することで、アマチュアバンド文化の発展を目指す音楽の祭典。県内7会場で開催地の特色を活かしたコンサートやワークショップを実施し、演奏技術の向上や世代やジャンルを超えた出演者と来場者の交流、地域の賑わいづくりを行う。今回新たに「作詞」の一般公募を行い、大賞作品をプロミュージシャンと一般参加者が楽曲として完成させ、広く県内外に発信していく。
	4	島根県合唱連盟創立50周年記念演奏会	島根県合唱連盟	松江市	3月	創立50周年を記念し、活動の軌跡と成果を発表する。出演者は県内の合唱団で中国大会以上のコンクールで優秀な成績を納めた団体、或いは地域に根ざした独自の活動を実施している15団体を予定。東西のあらゆる地域・年代の人々が共に歌い、聴き合うことで広域的かつ世代間交流を図る。また今回は島根をモチーフとした委嘱作品も演奏するなど、合唱音楽の豊かさの再認識及び合唱文化の振興を図る。
舞踊	5	島根県洋舞連盟結成10周年記念公演	島根県洋舞連盟	松江市	12月	企画、運営、脚本、演出、振付に至るまで、作品や舞台づくりの全てを連盟の会員を中心とする地元スタッフが手掛ける。今回はクラシックバレエ、ジャズダンスと、日本舞踊、石見神楽などとのコラボレーション作品に取り組む。出演者は県西部から県東部までの洋舞を学ぶ小・中・高一般の方まで70～75名を募集してオリジナル作品を上演する。ジャンルの違いを超えて互いの芸術性を認め高め合い一つの舞台を創り上げることで洋舞のレベルアップを図る。
伝統芸能	6	第11回島根県太鼓フェスティバル「神在の響」	島根県太鼓連盟	出雲市	11月	出雲独特の文化である「神在月」にちなみ、県内の太鼓チームに加えて全国を代表する太鼓チームを迎え、県内各地の神話や歴史遺産等を題材にした曲目を演奏し、和太鼓の勇壮な響によって「島根」の魅力を紹介するとともに、和太鼓技術の向上を図り、人と地域と文化の交流の輪を広げる。
	7	むらくも座2011出雲歌舞伎復活公演	島根県地歌舞伎連合会	出雲市	6月 11月	出雲地方に伝承されながらも昭和35年を最後に上演が途絶えてしまった出雲歌舞伎の再興を目指し、地元団体が連携して行う復活公演。平成22年度までに41演目を復活させてきたが、今回、これまで規模が大きく復活を見送ってきた2演目を復活させ、歌舞伎の始祖出雲阿国の誕生地にふさわしい歌舞伎として上演する。
美術	8	第5回しまね写真展	島根県写真家連盟	松江市 出雲市	5月 6月	写真愛好家をはじめ、広く県民から作品を公募して開催する写真展。応募作品は公開審査し、しまね写真大賞等を決定する。応募作品は、県内2会場で開催する写真展において全ての作品を展示し、多くの県民に鑑賞してもらう。県外及び海外からの出品もあり、春の写真展として定着しつつある。
	9	第6回しまね写真展	島根県写真家連盟	松江市 益田市	3月 4月	写真愛好家をはじめ、広く県民から作品を公募して開催する写真展。応募作品は公開審査し、しまね写真大賞等を決定する。応募作品は、県内2会場で開催する写真展において全ての作品を展示し、多くの県民に鑑賞してもらう。県外及び海外からの出品もある。(今年度に前倒しての開催)

分野別文化団体事業

分類	No.	事業名	実施団体名	実施地	実施月	事業概要	
映像	10	第20回しまね映画祭	しまね映画祭実行委員会	安来市 松江市 雲南市 出雲市 大田市 江津市 浜田市 益田市 川本町	6～11月	映画館の少ない島根県で、県内各地の公共文化施設を会場に「日本一開催期間の長い映画祭」という独自スタイルで秀作・話題作を幅広く上映する。また、「環境」をテーマにした選定作品の全会場上映や、上映作品の監督や出演俳優を招いたトークイベントも開催する。さらに、映画づくりを体験することでより深く映画と地域を知ってもらい、映像文化と地域振興を支える人材育成を目的に、映画制作体験ワークショップ「しまね映画塾」を開催する。	分野別文化団体事業
総合	11	第6回島根県高等学校文化フェスティバル	島根県高等学校文化連盟	浜田市	7月	島根県高等学校文化連盟60周年記念事業として、合唱・吹奏楽・弦楽・日本音楽・郷土芸能・演劇・吟詠剣詩舞など22部門が一同に集い、舞台発表と展示発表を行うことにより、高校文化活動を一般県民や小中学生にアピールする。	
伝統芸能	12	スサノオの里スーパー神楽2011	佐田町文化協会	出雲市	6月 11月	活力ある神楽舞を目指して結成した若者中心の神楽団体「佐田神舞会」が、出雲神楽の代表的な舞「荒神」を習得し、「スーパー神楽」として上演する。さらに、石見地方、芸北地方で活躍する神楽団体を招致し、共演することにより、刺激と元気と自信を得る。併せて、子どもからお年寄りまで幅広い年代層の神楽への関心を呼び起こすため、「神楽の絵コンテスト」を実施する。	
総合	13	第2回雲南市総合芸術文化祭	雲南市文化協会	雲南市	11月	雲南市文化協会の旧町村支部を超えた活動として、舞台、展示の両部門からなる総合文化祭を開催する。舞台部門では、市民に親しみやすい「童謡」をテーマに、プロのオペラユニット「LEGEND」を講師にワークショップを開催するとともに、ワークショップ受講生と講師が舞台で共演する。展示部門では、「工芸」をテーマに陶芸・ちぎり絵・草木染め・刺繍などの展覧会を開催し、団体や旧町村を超えた文化交流を推進する。	市町村文化協会事業
	14	2011文化を育むinますだ	益田市文化協会	益田市	9月～11月	新しい芸術文化の芽を市民が共に育む交流の場とすることを目的に、益田市文化協会に加盟する絵画・工芸・写真・書道・文芸・華道・茶道・音楽・芸能の各部門55団体が一堂に会する総合文化フェスタとして、作品展示や舞台発表などを行う。	
	15	月山富田城 月見の宴	広瀬町文化協会	安来市	9月	尼子氏の往時の月見の宴を偲ばせる趣向を凝らした会場づくりのもと、詩吟、大正琴、コーラスなど地元文化団体が日頃の成果を発表するほか、講師を招聘しての土笛作り及びその土笛による合同演奏会などを実施する。	
	16	第15回(平成23年度)松江市民文化祭	松江市民文化協会	松江市	9月	松江市文化協会の年に一度の文化の祭典。加盟団体の作品展示や公演などを行う。幼少年、保護者を対象に、食べるコーナーや遊びのコーナーを中心とした「わくわく広場」も開催して、幅広い方々に芸術文化に触れてもらう。	
	17	第7回奥出雲町芸術文化祭	奥出雲町文化協会	奥出雲町	10月	奥出雲町文化協会による年に一度の芸術文化祭。仁多・横田地域の2会場で開催され、協会加盟団体のほか、非加盟団体等による作品展示及び芸能音楽祭(ステージ発表)を行う。来場者の参加・体験コーナーも設け、町民の文化活動の意識向上と活動の拡大を図る。	
演劇	18	雲南市古事記編纂1300年記念作品上演プロジェクト	雲南市演劇によるまちづくりプロジェクト実行委員会	雲南市	9月	平成22年に雲南市が行った古事記編纂1300年記念「音楽劇」原作募集の応募作品の中から、創作劇として相応しいものを選び上演する。上演作品は古事記(特に出雲神話)に関するものとする。キャストとスタッフは、広く県内から募集し、プロの指導者によるワークショップや講習会を開催し、上演に当たってはプロの役者との共演を実施する。	神々の国しまね文化事業
伝統芸能	19	稲佐の浜 夕刻篝火舞	大土地神楽保存会神楽方	出雲市	7月	神話「国譲り」の舞台であり、神迎えの浜でもある出雲市大社町の「稲佐の浜」に舞座を設置し、その周囲で篝火を焚いて、幻想的な雰囲気の中で神楽舞を披露する。演目は「国譲り」に関するものなど、神話の世界を現実の世界に持ってきたものとする。また、石見神楽や広島神楽を招き、出雲神楽と他地方の神楽との違いを楽しんでもらう。	

分類	No.	事業名	実施団体名	実施地	実施月	事業概要	
伝統芸能	20	石見神楽 東京・大阪公演	石見神楽東京・大阪公演実行委員会	東京 大阪	9月 12月	平成24年に編纂1300年を迎える古事記。題材の多くが記紀神話に由来する「石見神楽」を東京・大阪の人々を対象に上演することにより、神話と歴史に彩られた島根の文化を全国に発信する。また、現代音楽と石見神楽のコラボレーションによるパフォーマンス集団「Yen Calling With オタケビ神楽団」をゲストに迎え、若年層に対しても神楽の魅力アピールする。	神々の国しまね文化事業
	21	深野神楽復活25周年記念共演会	深野神楽保存会	雲南市	9月	深野神楽復活25周年を記念して、出雲市、浜田市、雲南市及び北広島市など県内外の交流のある神楽団体との共演会を行う。また高総文祭の郷土芸能部門で文部科学大臣賞を受賞した大分県の由布高校の神楽部を招き、日本一の舞を鑑賞する機会を提供するとともに、地元こども教室生などの次世代育成を図る。記念共演会の演目は古事記編纂1300年に合わせ、古事記にちなんだ「岩戸」などを行う。	
	22	神々の国しまね～古事記1300年～第13回白銀の舞神楽大会	石見銀山神楽連盟	大田市	3月	「白銀の舞神楽大会」として広く知られている。従来は、各団体の得意演目や創作神楽を中心に上演してきたが、今回は古事記1300年を記念した事業として、「八十神」「岩戸」「恵比須」「八岐ノ大蛇」「日本武尊」など神話を題材にした演目を中心に上演する。面白さ、楽しさなど神楽の醍醐味を知ってもらうとともに、出演団体の技術向上の場とする。	